

「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都協定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

目次

- ・用語解説
「全電源平均と火力平均」…… P.1
- ・団体会員紹介
「環境・持続社会」研究センター…… P.2
- ・温暖化の兆候・こんなことできる…… P.3
- ・環境教育プロジェクトチームの紹介・
本の紹介・ボランティアの声…… P.4

温暖化防止

ストリート

街角

道

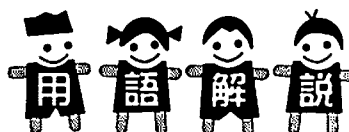
KIKO NETWORK 気候ネットワーク

気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止・ストリート」を発行しています。

第9号
2004.9.1

よく聞くけど

「ん？」何だったかなーっと思う



用語：全電源平均と火力平均

発電によるCO₂排出量を計算する際に「排出係数」を用いますが、その排出係数には「全電源平均」と「火力平均」があります。

一般的には、それぞれに異なる発電方法（水力、火力、原子力、自然エネルギーなど）からのCO₂排出量を平均化した「全電源平均」が用いられますが、省エネによるCO₂削減量は火力平均で求めるべきであるという意見があります。

1日の電力需要には大きな波（変動幅）があります。現在はベース電源として原子力発電によって一定量を絶えず供給し、それ以上の需要（波）が生じた場合には火力発電を追い炊きすることで対応しています。省エネによる削減量はこの追い炊き分を減少させることにつながるため、全電源平均ではなく実際に減

少した火力平均を使用して計算することが妥当であるという意見です。

今春、京都で取り組まれた京都の省エネルギー活動の効果は、10年間で147万kWhの電力量の削減と見込まれています。これは火力平均で992t-CO₂、全電源平均ならば525t-CO₂に相当することになります。

ここで使用した排出係数

「全電源平均」：0.357kg-CO₂/kWh
「火力平均」：0.675kg-CO₂/kWh

※この数字は、電力会社毎・年度毎に変動します

温暖化防止のためには省エネ効果を高めることも重要ですがそれと同様に、石炭火発を減らしたり、自然エネルギーを増やして電源構成そのものを転換していくことも必要です。

「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

気候ネットワークの団体会員の紹介です。



足立治郎さん

今回は、東京都港区にある、『「環境・持続社会」研究センター (JACSES)』の紹介です。事務局長の足立さんから紹介していただきました。

「環境・持続社会」研究センター (JACSES) は1993年に設立されたシンクタンク・NGO・NPOです。「持続可能な社会」の実現に向け、幅広い市民や専門家の参加・協力を通じ、他のNGO・企業・政策担当者 (議員・行政) などと連携しつつ、調査研究・政策提言・普及啓発活動などを行っています。

当センターの現在のプログラム・プロジェクトは、次の通りです。

1. 持続可能な社会と税制・財政プログラム

日本における持続可能な産業・雇用構造およびライフスタイル実現のため、国および地方自治体の税制・財政改革をはかる。

2. 持続可能な開発と援助プログラム

途上国における持続可能な開発の実現のため、日本他先進国及び開発機関の開発援助プロジェクト並びに政策を環境的に適正で社会的に公正なものに改善する。

3. 持続可能な開発と貿易プロジェクト

持続可能かつ公正な国際貿易システムの構築のため、調査研究・提言活動を行う。

4. 持続可能な開発・社会像プロジェクト

南北間および世代間で公正な資源利用許容量の算定と持続可能な社会像の提示を行う。

5. 地球サミット・フォローアッププロジェクト

持続可能な開発に関する様々な国際会議のフォローアップを行う。

特に「持続可能な社会と税制・財政プログラム」では、気候ネットワークをはじめとするNGOメンバー・研究者・税理士・企業人等で構成される「炭素税研究会」を組織し、効果的で公正な形で炭素税の早期導入に向け提言活動を行っています。具体的には、「炭素税の早期導入に向けた制度設計提案Version 5」「温暖化対策のための予算・

措置に関する提案」等の提言書作成やプレスリリース発行、炭素税の環境・経済・雇用への影響に関するモデル分析、議員向け炭素税勉強会開催などを行っています。

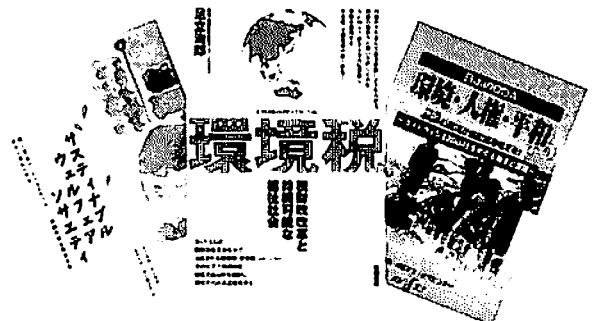
また当センターでは、今夏、書籍「環境税一税財政改革と持続可能な福祉社会」(足立治郎著、築地書館、2004年7月)を刊行し、大きな反響を得ています。環境税の「国内外の現状」から「環境保全効果」、「経済/雇用」や「暮らし/福祉」との関係、「税財政改革」全体の中での位置づけ、具体的な「炭素税のデザイン」、「政策プロセスと個人個人の果たしうる役割」に至るまで、環境税における様々な論点を多面的・包括的に環境税のことを全く知らない方々にも分かりやすく解説したものです。

環境省が8月末に炭素税導入を含む税制改正要望を財務省に提出し、その後財務省や政党での炭素税論議が本格化します。狭い範囲の特定利害を排し公正かつ効果的な炭素税を導入するには、これまでの霞ヶ関と永田町に独占されてきた感の強い税制決定プロセスを変え、市民参画を促し、国民の幅広い議論を喚起しなければなりません。ぜひ本書をお読みいただければ幸いです。

なお、税財政プログラムでは、「炭素税」だけでなく「廃棄物税・森林環境税など地方環境税」に関するセミナー開催・提言活動等もを行っています。

これら当センター・上記プログラムの詳細な活動内容については、当センターのウェブサイト (<http://www.jacsces.org>) をご覧ください。また当サイトにて無料で登録できるメールマガジンでは、当センターの最新の活動内容・今後の活動予定などを随時お知らせしています (ウェブサイトにて、メールマガジンのサンプルをご覧いただけます)。

また、私達の活動に賛同・支援をして下さる賛助会員・サポーターの方も、随時募集しております。持続可能な社会実現のためには、税財政改革・ODA改革・貿易改革・持続可能な社会像提示などが必須で、そのためには独立・非営利の立場からの提言活動が必要不可欠ですが、資金も人材も不足しているのが現状です。一人でも多くの方のご支援を御願い申し上げます。



「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

〒106-0047 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル2階

Tel: 03-3447-9515 Fax: 03-3447-9383 E-mail: jacsces@jacsces.org



日本各地の温暖化の兆候

今号から日本各地で見られる、温暖化の兆候や影響に関する情報を掲載していきます。情報をお待ちしています。

今年も日本各地で温暖化の兆候と見られる現象が起こっています。とくに7月の気温は記録的なものとなりました。熱中症による被害は年々増加し、台風や豪雨、落雷などによる被害も大きく増加しています。さらに、福井で起きた集中豪雨など、数十年に一度と言われる異常気象も頻発し始めています。地球温暖化ははるか未来のことでも、遠い国のことでもなく、すでに私たちにも被害を及ぼすものとなっています。

● 最高気温の記録

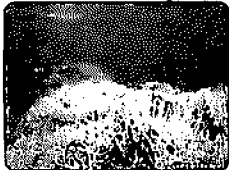
札幌では最高気温33.2度を記録し、真夏日は過去3年間の約3倍に上った。(共同通信7月30日)

● 集中豪雨

新潟・福島・福井を中心に集中豪雨が各地を襲った。約3万6000棟が床上・床下浸水し、多くの人々が避難生活を強いられた。また、死者・行方不明者は20人を超した。(毎日新聞7月22日)

● サング礁の白化現象

世界有数のサングがある沖縄では、海の汚染や海水温上昇に伴う白化現象等により、サングがここ30年で約1/5に減少した。(毎日新聞4月28日)



「白化したサング礁」

● ホタルの初見日早まる

ホタルが初めて光を発する姿が確認される「初見日」が、各地で例年より早く観測された。(共同通信6月9日)

● 降雪量の減少

青森市では、例年の3/4以下の降雪量しかなく、3月中旬にはほとんどの雪が消えた。(毎日新聞4月19日)

● 果樹の着色不良

果樹の着色不良が各地で見られ、岩手県など東北地方や長野県ではリンゴ、関東から九州の各地でブドウの被害が目立った。(共同通信6月9日)

● 東京でナガサキアゲハが見つかる

熱帯から亜熱帯に生息するナガサキアゲハが東京で見つかる。(毎日新聞7月1日)



ナガサキアゲハ

● 観測史上の最高記録を更新

東京と甲府では7月20日にそれぞれ39.5度、39.9度を記録し、観測史上の最高記録を更新した。熱中症で210人が搬送された。(共同通信7月21日)



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」でできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは『フィフティー・フィフティー』

ドイツの学校で始まった省エネプロジェクト。省エネで削減した経費が学校に還元されます。ぜひ、家庭にも取り入れてみては？

ドイツの学校で始まった「フィフティー・フィフティー」という省エネのプロジェクトは、省エネで削減した経費の半分(フィフティー)は自由に使える予算として還元される制度です。昨年、和歌山県でも約50の県立学校で取り組まれ、参加校独自の仕組みや生徒が自主的に工夫して、CO2削減の成果を上げました。この取り組みは、学校だけでなく様々な建物や組織で、工夫を加えて取り組むことができるはずで

家庭レベルでは、「省エネに熱心に取り組んでいるが、家族のメンバーが協力してくれない」ということもよく聞きます。そこで、このフィフティー・フィフティーを家庭に取り入れてみてはいかがでしょうか。光熱費の削減した半分は小遣いにあてることを約束してみるという仕組みです。これまで無関心であった家族からの協力が得られること間違いなしでしょう。

このコーナーでは、気候ネットワークのプロジェクトや研究会、キャンペーンなどの紹介をしています。

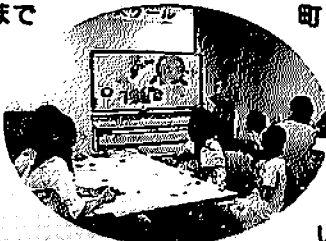
気候ネットワークの活動紹介



「暮らしバスケット」の様子

「環境教育プロジェクトチーム」

気候ネットワークでは、地球温暖化問題についてより多くの方に理解を深めていただくために、「環境教育プロジェクト」を立ち上げ活動を行っています。これまでも小学校での出前講座や環境関連イベントでのブース出展など様々な活動を行ってきました。このプロジェクトではこうした活動をより発展させていくために、新たな手法やツールの開発を進めるとともに、ノウハウの蓄積とそのとりまとめ、さらには次代を担う人材の養成にも取り組んでいます。



「温暖化パッチワーク」の様子

今年、伏見工業高校、洛水高校での総合学習支援や京都近郊の小学校での「お手紙ワークショップ」に加え、木津町リサイクル研修センター、ストップフロン全国連絡会、京都府地球温暖化防止活動推進センターなどと協働した取り組みも行っています。

写真は「木津町リサイクル研修センター」で小学生を対象にワークショップを行なっている様子です。

本の紹介

おすすめの本の紹介です。

紹介者：可児卓馬（立命館アジア太平洋大学、気候ネットワークインターン）

まんがで学ぶエコロジー 本当に「地球にやさしい社会」をつくるために

文：内藤正明、絵：高月紘文、執筆協力：鈴木娟文、出版社：昭和堂、2004年6月30日発行

筆者の一人である高月紘氏はごみ問題に関する研究者であると同時に、著名な環境マンガ家でもあります。また、もう一人の筆者内藤正明氏は長年にわたり幅広い視点と立場から環境問題に携わってきた方です。この二人によって描かれた本書は、その題名からも分かるようにマンガを随所に挿し込み、分かり易くかつ幅広い視野から問題を捉え、本質的な解決に向けた社会のあり方を提示しています。環境問題に関する入門書であるのももちろんのこと、さらに理解を深めていきたい方にもオススメの一冊です。



<本体2,000円+税 184ページ>

ボランティアの声



京都ボランティア 林川 美保さん

気候ネットワークではたくさんのボランティアと一緒に活動しています。そのボランティアからのコメント！

社会人ボランティアの林川です。現在は、ボランティア通信「KITE」の編集と「自然エネルギー学校・京都」のスタッフをしています。KITEの編集では、使ったことの無いMACに悪戦苦闘しつつ放しですが、パソコン音痴の私にはすごく勉強になります。自然エネルギー学校では、視察ツアーが一番の楽しみです。去年は生まれて初めて関西で風車を見て圧倒されました。今年もよろしくお祈りします。

編集後記

先日、映画「東京原発」を見てきました。役所広司が演じる東京都知事が、東京に原発を誘致しようとするところからはじまる映画です。一緒に見に行ったボランティアの1人が大きな「ショック」を受けていました。学校教育で、原発に関する情報や危険性をもっと伝えなければならぬ、と感じました。

私は原発のコワサ以上に、エネルギーや環境負荷に対する人々の無関心が恐ろしいとも感じました。温暖化問題も同じではないでしょうか。（マサル）



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

代表：浅岡美恵 / 副代表：須田啓海 / 事務局長：田浦健明

URL : <http://www.jca.apc.org/kikonet/>

「温暖化防止・ストリート」9号
2004年9月1日発行（隔月1日発行）
編集・DTP：豊田昭介・中野大

京都事務所（本拠）
〒604-8124 京都市中京区高倉通四条上る高倉ビル305
TEL：075-254-1011 FAX：075-254-1012
E-mail：kikonet@jca.apc.org

東京事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F
TEL：03-3263-9210 FAX：03-3263-9463
E-mail：kikotko@jca.apc.org

古紙100%の再生紙に大豆インクを使用し、風力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座：00940-6-79694（加入者名：気候ネットワーク）
銀行振込口座：東京三菱銀行 京都支店 普通口座 1370852（気候ネットワーク）